

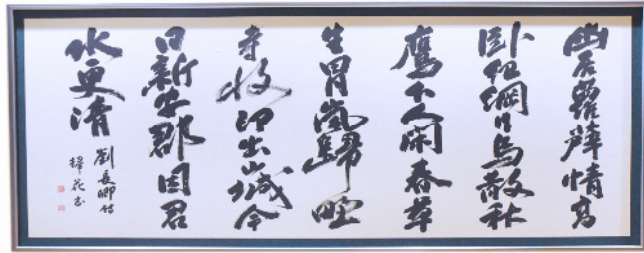
第 31 回 川西市展入選目録

特別賞 青木賞（市長賞）

書の部

「劉長卿 詩」

和田 掃花（池田市）



特別賞 平通賞（議長賞）

日本画の部

「深雪の美山」

増田 史男（宝塚市）

特別賞 川西市美術協会賞

写真の部

「ロープ」

三吉 孜（川西市）



☐ 部 門 洋画、日本画、書、彫刻・立体造形、工芸、写真、現代美術

☐ 入選作品、審査員の講評は市ホームページ内の動画でご覧いただけます。



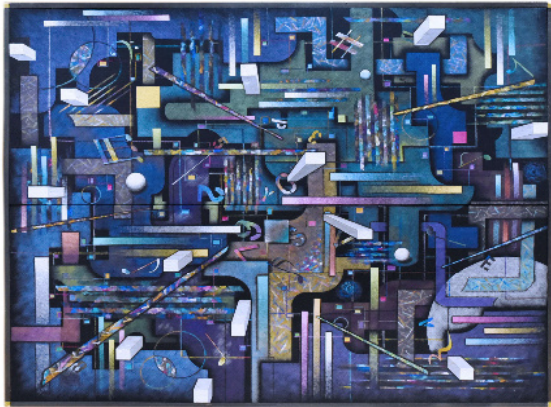
市ホームページはこちらから

主催 川西市

■洋画の部

一席 さい 彩・2・6

田内 康雄



二席 平和の兆し

河野 満

三席 忘却の街で

早川 博唯

奨励賞 Dancer

岡山 昌弘

奨励賞 風の耳

久田 泰子

奨励賞 ドック

横川 武利

奨励賞 夕映えの扉

川島 千香子

奨励賞 二つ星料亭

高須 栄一

奨励賞 機関

吉倉 稲穂

奨励賞 育む

淵上 登美

奨励賞 木曾路の宿

赤尾 正武

奨励賞 梅田新道

野村 和男

奨励賞 OROCHI

安田 賢二

入選 変わりゆく町

岡島 信博

入選 むびょうそくさい 今年も無病息災を

松井 靖

入選 オリーブの樹

長綱 知子

入選 コンサート

東 幸芳

入選 溪流

倉本 晋匡

入選 ひるさ 屋下がりの河岸 かし

河合 和彦

入選 秋の渓谷

淀井 多美子

入選 発展の足跡

山本 良彦

入選 光差し込む

稲垣 泰造

入選 薔薇と仔犬

坂口 和彦

入選 11月のカナ

黒田 公子

入選 森のレストラン

藤岡 祐

入選 春ウ・ラ・ラ

加藤 美穂子

入選 ながさきけんくじゅうくしま 長崎県九十九島

明渡 康子

入選 黒部平の秋

稲継 佳久

入選 早春の山歩

大槻 貞二郎

入選 回想「カルナック神殿の列柱」

小室 浩士

入選 共生の森

岡部 弘道

入選 古城と薔薇
(シュノンソー城・フランス)

宮澤 猛

入選 鳥の目線

森本 功

入選 ランプのある静物

森 靖子

入選 ほほえみ

広瀬 敬三

入選 浅春

安久 進子

入選 池田城の桜

石田 貢

入選 山門・光の造形

矢川 美由喜

入選 廃れた鉄工場

鶴田 俊雄

入選 芽吹

中舎 恵子

入選 ウブドウの朝市

住田 幸世

入選 山道

中尾 昇二

入選 晩秋

西 勝年

入選 伊予・面河溪

山中 秀夫

入選 終着駅

高井 勝

入選 ピエロ

中瀬 俊介

講評 松村 一夫・大東 明宏

よく対象を観察し、真面目に制作に取り組まれた作品が多くありました。その中で、独自の表現方法でフレッシュな印象を持つ作品も見受けられ、これからが楽しみと感じました。

一席の「彩・2・6」は、平面的な構成を試みながら要所要所にビビットな色彩を配置し、画面に動きと奥行きを持たせ、軽やかなリズム感のある魅力的な作品になっています。現代の躍動する曼荼羅という印象を持ちました。

二席「平和の兆し」は、縦長の画面を効果的に切り取った構図になっています。水面の色がとても美しく、筆の繊細なタッチで描かれています。背景の木立ちの抜けていく処理も巧みです。

三席「忘却の街で」は、例年ユニークな絵づくりをされてきた中で、今回は特に密度のある作品になっています。細かな色面で描かれた人物や背景の地面は魅力的です。右上の紅葉した木の葉

■日本画の部

一席 深雪の美山

増田 史男



二席 ぎぼうし
擬宝珠

橋本 和代

三席 南天

道畑 常美

奨励賞 私達はどこへ行くのか

楠井 加奈

奨励賞 ようせいたちの笑み

森 弘恵

奨励賞 アマリリス

夏川 和子

奨励賞 新しい風

落合 諒音

入選 秋の実り

板野 英子

入選 ひまわり

柴垣 傳子

入選 オリーブの木

井上 朋子

入選 しんせつかやぶき さと
深雪茅葺の里

野田 律子

入選 こうよう どうふくじ
紅葉の東福寺

植田 凱夫

入選 う
卯

山本 富美子

入選 箕面大滝

柚木 美恵子

入選 もみじ しきいし
紅葉と敷石

山崎 一義

入選 古典Ⅰ

藤田 和弘

入選 はる

蒔野 加代子

入選 尾瀬

田中 清子

入選 しろ みげんえい
銀鏡幻影

小倉 暉生

入選 はすに声を聴く

植田 公子

入選 春

赤木 恵美子

講評 井上 美紀・田中 達也

今年は全体的に作品数も増え、より内容のあるものが多かったように感じられました。技術も大切ですが、日本画は写生を重んじます。自分が何を描きたいか、何を表現したいのか、その事をしっかりと念頭に置き、素直な気持ちで今後も制作に向き合ってくれたらと願います。

一席の「深雪の美山」は、白を基調とした画面の中に雪の質感がよく表現された力作です。月の光がかすかに映り、より世界観を幽玄なものへと昇華させています。

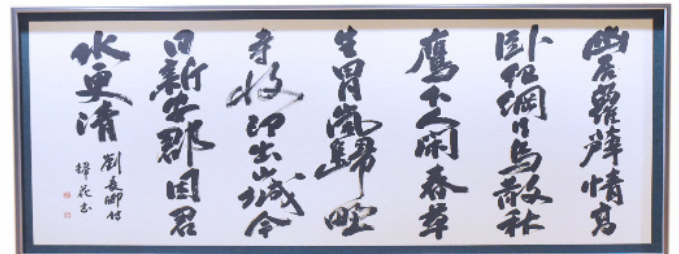
二席の「擬宝珠」は、爽やかな色感で描かれた擬宝珠の花。日影に咲く花を優しい色あいで描く事で初夏の涼しさがよく表現された作品です。

三席の「南天」は、全体にまとまっています。葉と枝の表現は良いですが、実の配置・色が単調に感じます。赤色の幅を広げるとより良くなると思います。

■書の部

一席 りゅうちょうけい うた
劉長卿 詩

和田 掃花



二席 あき こ うた
晶子の歌

小田 美夕紀

三席 きりん せいりゅう
麒麟と青龍

清水 和義

奨励賞 王維詩

横山 青波

奨励賞 しゅうほう し
周昂詩

伊藤 倅泉

入選 どうげん うた
道元のお歌

三浦 芳雨

入選 おおともやかもち
大伴家持のうた

川口 登美子

入選 またたき
瞬

中島 久夫

■書の部つづき

入選	清逸	福岡 淳
入選	ほうかんし 方干詩	丹羽 好美
入選	夢	平松 博美
入選	り ぼうようし 李夢陽詩	下村 友樹
入選	大伴家持 万葉集最終歌	万代 靖秀

講評 塚田 洮河・和田 英翠

三年ぶりに、受賞式復活の賛辞も加わり、頑張って書かれた作品が華を添え、種類も多彩で見応えあり、なかなか楽しませていただきました。いろいろな作品をどしどし出品してほしいと望みます。

一席の「劉長卿 詩」は、力強くて出来ています。もう少しカスレを出して頂ければ尚良かったと思います。

二席の「晶子の歌」は、やややさしく書かれていますので突っ込みがあれば、メリハリが出ます。

三席の「麒麟と青龍」は、大変良く出来ていますが、印の押す位置が、まっすぐにして下されば、良いかと思います。

■彫刻・立体造形の部

一席 ヴァン・ゴッホの天路歷程 てんろ れきてい 安田 正裕



二席 out of the blue 竹内 清

三席 幼老の仮面
(大震災後も夜が明ける No.103) シュウ

奨励賞 阿弥陀如来立像 玉越 清太

奨励賞 がんさく
Forgery 中瀬 響

入選	コガモ	横山 豊
入選	金属の折り鶴	井上 義和
入選	もんじゅ ぼさつ し し きょうぞう 文殊菩薩獅子騎乗像	川島 實
入選	しょうかんの んりつぞう(きぼう) 聖観音立像(希望)	山本 厚子
入選	八重山ゴットン牛車	中川 良子
入選	movement	南谷 喜彦
入選	安寧を求めて	神山 美登里

講評 長野 久人・中西 學

一席の「ヴァン・ゴッホの天路歷程」と三席の「幼老の仮面」は、素材の使い方と表現内容がリンクしていて、可能性を感じさせます。二席の「out of the blue」は、精緻で素材の使い方も良いと思います。今回の出品作は、素材の多様性が印象に残りました。作品を作る作者の一生懸命さが感じられ、今後の活動が期待できると思いました。

一席の「ヴァン・ゴッホの天路歷程」は、有名なヴァン・ゴッホの最晩年の様子をカードボード等で表現されています。ゴッホの表情をはじめ、細部へのこだわりが見られ、制作者の優れた造形感覚を感じ取れます。

二席の「out of the blue」は、水辺で繰り広げられた一瞬の情景が丹念な木彫で表現されています。台の蓮の葉、鳥、カエルはそれぞれ材料の木目などの特性が活かされています。鳥の足は金属で再現されており、水滴は、ガラスが使用され、美しいです。彩色もバランスがとれていて、技術的な完成度も高いと感じます。好感の持てる作品に出会えた事の喜びが非常に大きいです。

三席の「幼老の仮面」は、「幼児と老人」「具象と抽象」との対比関係が内包されています。また、塗装を施した金網メッシュの特性を活かして、独自の空間を構成されています。

■工芸の部

一席 フクロウ家族(樹洞の内と外で) 羽倉 正



二席 大阪の盆踊り 東野 昭

三席 翁 大橋 美知子

奨励賞 しんかく のうめん
真角(能面) 森島 紀明

奨励賞 和尚の葛藤 山下 勝

奨励賞 ヘラクレスオオカブトの夢
アスパラベーコンの食卓 宮路 都羽

入選 世界にひとつのバッグ 堂見 和子

入選 青い壺 大井 良和

入選 かんしつかがあけからでんぎんぼんめこみすずりばに
乾漆手鏡形螺鈿銀板埋込硯箱 池乃浦 大起

入選 泡雪 濱口 葉子

入選 こちくりん
虎竹林 加藤 高志

入選 カラジューム 梅崎 裕美子

入選 ぞうおんな
増女 兵庫 豊

入選 ワールド牧場の猫 池寄 凌一

入選 まっすぐに 植山 和美

入選 木漏れ日 岸上 丈一

入選 もうお花見してもいいでしょ 乾 恵

入選 夢を乗せて走るハローキティ 山崎 茂久

入選 母と子 権藤 二三子

講評 熊本 一哉・泊里 涼子・堀内 晴美

出品点数も増加で、色々なジャンルの作品が見られ、楽しかったです。個々の作品について、見えている部分は勿論大切ですが、見えない所もしっかり作り込んでほしいものです。

一席の「フクロウ家族(樹洞の内と外で)」は、こんな家族でいたいなと思う、ほのぼのとした作品です。一品づつ、丁寧な作品作りが感じられ、にぎやかなさえずりが聴こえて来ます。

二席の「大阪の盆踊り」は、ウッドバーニングという手法に独特の繊細な線描が、観る者を惹きつけています。画力や画面の構成もレベルが高く、今後が期待されます。

三席の「翁」の刺繍額は、格調高い古紫の塩瀬地に、絹糸の光沢をたくみに表現されていて、立体感が上手く表現されています。一針一針、心を込められた素晴らしい作品となっています。

■写真の部

一席 ローブ 三吉 孜



二席 しよぎょうむじょう なが
諸行無常の流れあり 岩井 健次

三席 マスク遊び 田中 富士夫

奨励賞 杜の親子 上月 正美

奨励賞 晩秋のコンチェルト 大橋 豊

奨励賞 紅の海 長崎 隆之

奨励賞 きんしゅう
錦秋 古川 和男

■写真の部つづき

奨励賞	夕景	井関 静雄
奨励賞	デイドリーム	阿部 信夫
奨励賞	荘厳	金泉 萬楽
奨励賞	「ご参拝」	石本 吉秀
奨励賞	秋の装い	上柳 恒雄
奨励賞	愛し子	芦田 芳郎
奨励賞	Dear Deer	なかにし 宏明
奨励賞	雨の4角 ^{コーナー}	桑原 実
奨励賞	ちよつと！失敬	中山 勇三
奨励賞	桜散る頃	長沼 利彦
奨励賞	一庫ダム朝景	太田 茂範
奨励賞	めぢからくらべ 眼力較べ	常木 良一
奨励賞	黄昏	近藤 博
奨励賞	ハロ井	福本 綾
奨励賞	しんか 神火	清水 晴夫
入選	虹シャボン	名桐 昭次
入選	寸暇の語らい	玉置 喜章
入選	ブルーワールド	松本 徹
入選	オホーツク海	松本 進
入選	頑張ろう・歩こう	武田 一美
入選	落ちるに惜しき	川西 良樹
入選	水模様	藤原 修
入選	クレセントムーン	本田 健二
入選	うしょう お つな 鵜匠と追い綱	江口 裕治
入選	初体験	加藤 昭代
入選	大漁	馬場 和正
入選	祈りを込めて	佐藤 千鶴子
入選	青春	牧 孝三
入選	メルヘン	数藤 守治
入選	夕陽の造形	梅崎 光政
入選	一瞬に賭ける	薄井 研司
入選	秋色	三ツ橋 洋

入選	ほのぼの二人の春	神田 英樹
入選	天空の城	岩崎 勲
入選	桜道	田島 孝雄
入選	音楽仲間	波多野 博
入選	ホーム	前田 安活
入選	とかちゆうかげ 十勝夕影	松尾 忠明
入選	快走	天井 博章
入選	小さな探検隊	羽田 範子
入選	地吹雪	宇田川 洋二
入選	うんじょう といき 雲上の吐息	河津 敬子
入選	Uターン	亀田 喜代子
入選	お手紙届けます	亀田 政彰
入選	春の輝	菊池 惇一
入選	蓮華	合田 伸一
入選	間もなく発車	山辺 幸男
入選	冬空の下で	田中 諭
入選	たかい！たかい！	菅野 みね子
入選	親子	奥田 恵子
入選	森 煙る	清水 和男
入選	ママこわいよう～	岡崎 雅子
入選	げんそう また べえさくら 幻想(又兵衛桜)	田中 善
入選	夜明けの釣り人	名越 章
入選	挑戦	清水 和義
入選	ぜっけいげんたんせいさく さと 絶景減反政策の里	仁井田 精司
入選	あけぼのごうれい 曙号令	成平 博

■写真の部つづき

講評 古家 輝雄・クキモト ノリコ

本年も写真部門には、コロナ禍とは思えない一期一会の感動を捉えた風景や、一瞬を巧みに切り取りスナップの真髄に迫った作品等、意欲的に創作された107点もの作品が寄せられました。審査にも力が入りましたが、アートの役割を直視して、「何をどう表現するか」のメッセージ性を感じさせる作品が印象に残りました。

一席の「ロープ」は、視界に広がる(おそらく)大きな船体から、独特の感性で切り取られた2枚の造形美と色の組み合わせが素晴らしいです。また、実はどちらにも「ロープ」そのものは写っていないものの、このタイトルで2枚を繋いでいる点も見事です。

二席の「諸行無常の流れあり」は、水面の泡を主題とした、ひととき異彩を放つ作品ですが、広角でグーと寄ってレンズの眼による泡の半球体造形と密集表現の斬新さを感じます。さらに大小の泡表面に映り込んだ人物(作者)が歪の虚像の神秘性と不思議な存在感を表現していて、作者の力量が垣間見られる作品です。

全体的にモノトーン調の画面に、フォトジェニックな赤い服の女の子の表情と仕草を捉えた「マスク遊び」は、一瞬を切り取るスナップ写真として見事です。また、そろそろマスクを外したいよね、という共感を見る人に感じさせる作品です。

■現代美術の部

一席 胡蝶の夢

畠山 忠美



二席 劣化と烈火

塚本 秀之

三席 水面の音符

桑垣 和弘

奨励賞 Colors

芝谷 桂

奨励賞 停滞する心

高阪 孝子

奨励賞 CONNECTION

簗原 侃子

入選 パンフレットに魅せられて

上田 正子

入選 誕生

柚木 美恵子

入選 キラキラ

吉倉 稲穂

入選 キラキラな川

石田 貢

入選 宇宙から見た地球は、国境もなく、ただただ美しい星

Atelier Madoka

入選 ウフル(自由)

島池 裕見子

入選 幻想旅行

赤木 政則

入選 水無月の生命

鈴木 美代子

入選 飛翔

鈴木 基光

入選 時空

西川 輝彦

入選 ゆるキャラ「カワ〇シ君」

竹中 豊秋

入選 TARASHI TENNBANN

松浦 良明

入選 朽ち果てる前に

浦辺 民子

入選 満華衣

岡根 章帆

講評 神野 翼・元永 紅子

一席の「胡蝶の夢」は作品としての強度と言うより物体としての実際に存在している実在感が素晴らしく、ある種の主観が見えてこない故に客観も浮上せず、作品の存在自体が非常に実存的である所が様々な問いかけになっており、当世において物議を醸し得る良い作品になっています。

二席の「劣化と烈火」は、物質の劣化の相対性を非常に明確に作品の中に現出させている所が見事で、物質に留まらず美術ないしは美術展への相対性にまで思考を拡張でき得る可能性を秘めた良い作品であると思います。

三席の「水面の音符」は、小さいながらも水面に映る色が流されずにバランス良く留まっているしっかりとした印象を受けました。

長引くコロナ禍や社会情勢の影響を受けた作品も多かったように思いますが、それぞれに未来に向かう心が表現されていたと思います。

◆ 各部門審査員 ◆

(順不同、敬称略)

<洋画>

松村 一夫・大東 明宏

<日本画>

井上 美紀・田中 達也

<書>

塚田 洵河・和田 英翠

<彫刻・立体造形>

長野 久人・中西 學

<工芸>

熊本 一哉・泊里 涼子・堀内 晴美

<写真>

古家 輝雄・クキモト ノリコ

<現代美術>

神野 翼・元永 紅子

◆ 特別賞審査員 ◆

川西市長

越田 謙治郎

川西市議会 議長

西山 博大

川西市美術協会 会長

鳥居 夔

(公財)宝塚市文化財団 理事

大野 良平

川西市市民環境部長

岡本 匠

◆ 特別賞について ◆

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘（あおき だいじょう）画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男（ひらどおり たけお）画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まわれ、日展参与となられた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージーゼ レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

また、第25回川西市展時に川西市美術協会賞を新設し、青木賞、平通賞と同じく一席の作品の中から選出しています。

◆ 第30回川西市展応募状況等 ◆

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	64	33	13
日 本 画	21	14	7
書	13	8	5
彫刻・立体造形	12	7	5
工 芸	19	13	6
写 真	107	42	22
現代美術	20	14	6
合 計	256	131	64